



立志の丘

第36号

R6.1.16

西目中学校

文責：菊地

2024年スタート

今年も西目中を よろしく願います



20日間の冬休みが明け、昨日から授業再開となり、生徒は授業や部活動など、普段の学校生活に戻りました。残る授業日数は3年生39日、1・2年生46日です。中学校は、間もなく受検、卒業、進級という大きな節目を迎えます。職員一同、生徒に寄り添い、成長を支えて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、今年も西目中をよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、雪がなく穏やかなお正月だなと思っていたところ、元日に能登半島地震が発生しました。この地震により石川県では200名を超える方がお亡くなりになり、多くの方々が避難所生活をされています。小中学校も多くが避難所として使われており、始業日が延期になったり、再開のめどが立っていない学校も多いようです。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、15日(月)の冬休み明け集会では、「当たり前のことを当然だと思わず、ありがたいことだと感じてほしい。当たり前に感謝してほしい」ということをお話ししました。

今回の地震で、あらためて「当たり前の日常」の大切さやありがたさを痛感しました。

新型コロナもそうです。昨年5月から5類感染症へ移行となり、現在は通常の学校生活を送ることができるようになりましたが、それまでの約3年間は学校生活や日常生活に様々な制限があり、これまでの「当たり前」がことごとく覆されました。いろいろと制限のある生活を経験し、「当たり前の日常」のありがたさ、大切さを強く感じています。

また、15日(月)の秋田さきがけ新聞の1面には、

「浸水から戻らぬ日常」という見出しで、昨年7月に県内を襲った記録的大雨から半年たった今も、秋田市や五城目町では元の生活に戻れないでいる被災者が多くいる、という記事が掲載されていました。

昨日からの雪で、今朝は学校に向かう道路や校庭に除雪車が入っていました。そして校務員の柳*さんが、朝早くから除雪機を動かしてみなさんが歩きやすいようにしてくれています。いつも「当たり前」のように除雪されている雪道ですが、陰ながら、自分たちのために働いてくれる方々がいます。そんな大切なことを、私たちはつい忘れがちです。

身の周りにある「当たり前」を見つめ直し、感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができたらいなと思います。

「こころ」はだれにも見えないけれど
「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど
「思いやり」はだれにでも見える

宮澤章二「行為の意味」より

集会では第4期(1/15～3/31)の「期の集い」を行い、生徒のみなさんから、新年を迎えて今年頑張りたいことについて発表がありました。

また、生徒会からは、第4期のテーマである『飛躍』生徒会活動を発展させよう』について、全校で頑張っていくことを確認しました。その後、各学級で期の学級会が行われ、第4期の重点事項について話し合いました。



第4期は、1年間のまとめの期であり、4月からの新しいステージに向かうための準備の期でもあります。第4期が充実した日々になるよう全校生徒の頑張りに期待しています。

「期の集い」の生徒発表から一部を紹介します。

1A 高***

今年頑張りたいことを三つ発表します。

一つ目は、水泳と勉強の両立です。去年は時間を有効に使うことができず、自分に甘えてしまい、家庭での勉強と部活動がおろそかになってしまいました。今年、時間の配分を改めて、水泳と勉強を両立するように努力したいと思います。

二つ目は、後輩のお手本になれるような先輩になることです。僕は去年の4月から先輩方の素晴らしいところをたくさん見てきました。食堂で給食を食べる時、2年生は「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつをととても大きな声で言っていました。感謝の気持ちをあいさつで伝えるという姿を見習いたいと思いました。そして、3年生のみなさんは、先月行われた球技大会で、自分たちの試合が終わると他の学年の応援やゴールが決まった時の拍手など、行事を盛り上げようとする姿、周りに気を遣う姿がとても素晴らしいと思いました。この先輩方の素晴らしい姿を自分たち取り入れて、何かあった時に頼れる先輩になりたいです。

三つ目は、どんなことがあっても場に応じて対応する力を身に付けることです。僕は、お正月に能登半島の大地震のニュースを見ました。この地震では、たくさんの方が亡くなりました。地震はいつ起こるかかわからないし、今も続いています。そのような災害時に備えて、家族と避難場所を決めたり、非常時持ち出し袋などを準備したり、事前の備えが必要だと感じました。避難所の方々の生活を思うと、とても胸が苦しくなりますが、自分にできる募金活動をしたり、日々の生活に感謝して毎日を充実させたりしたいと思います。

今年、2024年は残念なニュースから始まった年ではありますが、周囲の人の気持ちを考えて行動し、さらに人のために役に立てる人になりたいと思います。この三つのことを達成できるよう、1年生の残りの3か月を充実したものにしたいと思います。

1B 木***

「今を大切にすること」

元日の朝に私が立てた目標です。私にははっきりとした将来の夢がありません。でも大人になって社会に出る時「この仕事を選んでよかった」と心から思えるようにしたいです。そのために、今からたくさんの方にチャレンジして可能性を広げ、いつか夢が見つかった時に、自分があきらめてしまわないようにと考えています。(右上へ)

そのために、今、私が頑張りたいことは、学習面では、得意な教科にかけるのではなく、苦手な教科も少しずつ克服していくことです。自分が苦手だと思ったところは、その日のうちに分かるようになるまで勉強することを心がけたいです。

部活動では、先輩方に楽器を吹く楽しさをたくさん教えてもらいました。4月からは私も先輩になるので、自分の楽器のよさを伝えられるように、コミュニケーション能力をしっかり身に付けていこうと思います。

将来を見据えながら、今しかできないことを大切に、力に変えていきたいです。

今年の漢字一文字

～3年生の発表より～

3B 葛***

私の今年の漢字は「試」です。

私はこの1年を、やりたいことにチャレンジする年にしたいです。最近、一人で料理ができるようになりました。料理は前からやりたいと思っていたことで、その一つを達成できたのでうれしいです。

今年、去年やろうと思っていたけどできなかったことを、片っ端から試していく1年にしたいと思ったので、この漢字にしました。

3B 佐*****

私の今年の漢字は「挑」です。

私は2024年を、新しい環境になってもたくさんの方に自ら挑戦する1年にしたいです。高校に入ると、今とは違う人間関係、教科など、新しいことがたくさん増えると思います。だけど、そんな新しい環境にも柔軟に対応し、新しいことに挑戦できる1年にしたいと思ったからです。

3B 佐*****

私が選んだ漢字は「楽」です。

2024年は、健康に過ごせる1年にしたいです。そして、残り少ない中学校生活や、高校に行ってから新しい学校生活、プライベート、全力で楽しみたいです。

どんな状況でも楽しめる自分でありたいと思ったので、この漢字を選びました。

